



協働的な学び

校長 作田潤一

今年1月に『令和の日本型学校教育』の構築を目指して」と題した中央教育審議会の答申がありました。全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現を目指す内容でした。

我が国の学校が学習指導のみならず、生徒指導の面でも主要な役割を担い、子供たちの知・徳・体を一体で育む「日本型学校教育」は、諸外国から高い評価を得ています。

この従来の学校教育の在り方をギガスクール構想や学校の働き方改革の視点等で必要な改革を躊躇なく進めるべきという内容の答申です。

この改革の流れの中で、留意すべきはタブレット等を使用した学習の個別化が学習の孤立化にならぬよう、体験活動や話し合い・教え合いの協働的な学びを適切に確保することだと考えます。オンライン授業を長期間実施した学校では児童生徒の学習のつまづきが増えているとの声も聞かれます。本校で実施した生徒対象のアンケートでも、「わかる」「できる」と感じる学習は、ICTを活用した授業よりも、グループやペアで友だちと一緒に課題を解決した学習だとする意見が圧倒的に多い回答でした。

このことは、子どもの学びだけではなく、大人の学び（子育て）についても同様のことが言えるように思います。教育は共育 育児は育自とも言います。個別化が進む現代だからこそ、互いの悩みや喜びを共有して互いを理解し、親同士、教職員と保護者が協働して学ぶことが必要だと考えます。

御船中学校区「学力向上」研究指定事業研究発表会

10月28日（木）に研究発表会が御船町内4校の小中学校で開催されました。本研究では「確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成—共通の成果指標による効果的な実践の交流をとおして—」を研究主題として9年間を展望した子どもたちの学力向上を目指して、研究を進めてきました。御船中学校では

全体会と3つの研究授業（1年生英語、2年生国語、3年生数学）、授業研究会を行いました。文部科学省調査官の視察もありました。授業研究会には生徒も参加し、授業についての質問に



グループで協働

しっかりと受け答えをしていました。参観した方からは「生徒同士が意欲的に意見交換をしていた。クラスが肯定的な雰囲気であった。」など高い評価をいただきました。



授業研究会に参加しています

御船中学校のSMARTな授業実践の取組は、全国誌「内外教育」（時事通信社11月26日発行）でも大きく紹介されました。

租税教室「租税落語」

11月16日（火）に租税教室を行いました。今回は落語家の笑福亭鉄瓶さんを講師として、「税」について「租税落語」でわかりやすく、おもしろく話をいただきました。また、落語の落ちや仕草についてもワークショップ形式で教えていただき



鉄瓶さんとの掛け合い

ました。生徒からは「落語を初めて聞いてとても楽しかった。税の大切さについて知ることができてよかった。」などの感想が聞かれ、税への関心が高まりました。

人権教育授業研究会

11月10日（水）に御船町人権教育授業研究会が開催されました。御船中学校では1年1組で研究授業を行いました。教材「教科書無償のたたかい（「きずな



意見を伝え合っています

1996年版抜粋」中学校用）」は憲法について学習をしていた保護者たちが、第26条「義務教育はこれを無償とする」という権利に基づき、差別に立ち向かう姿を描いたものです。学習をとおして「あきらめずに最後まで行動し続けることの大切さや強い思いを持ち、仲間と団結する大切さ」「自分たちの本音を出し、安心して過ごせる学級づくり」について真剣に考える生徒の姿がありました。

薬物乱用防止教室

11月19日（金）に1年生薬物乱用防止教室を開催しました。御船警察署の松岡利季さんに講話をしていただきました。「薬物は一度やったらやめられなくなり、依存により薬物に支配されるようになる。薬物はすべてを失う。『ノー』と言える勇気を持つことが大事だ。」と動画等を使って説明されました。生徒からは「薬物の恐ろしさがよくわかった。絶対に薬物を使用しないと決意しました。」などの感想が聞かれました。

ロボコン九州大会へ

第24回熊本県中学生創造アイデアロボットコンテストでもものづくり部が制御部門で敢闘賞、応用部門でアイデア賞を受賞しました。ものづくり部は12月に開催される九州大会に出場します。部長の小林玲蘭さんは「県大会では緊張して自分たちの力を十分に発揮できず、悔いが残った。練習を重ね、万全の状態九州大会に挑みたい。」と力強く話してくれました。



改良を重ねています